



鎌田地区
令和 3 年 3 月 1 日現在
総人口 19,710 人
(前年比 +230 人)
世帯数 9,154 戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

新しい生活様式のなかで春を待つ 地区公民館・福祉ひろばも事業を再開!

1 年前から続くコロナ禍で、私たちの日常はマスクの着用や 3 密の回避など生活様式が大きく変わりました。今号の特集では、地区公民館や福祉ひろばのある複合施設の最近の様子を紹介いたします。

アマビエに思いを託して

鎌田児童センターを利用する子どもたちは、毎日しっかりと手洗いやうがいなどコロナ感染対策を励行しています。そんな子どもたちから公民館と図書館の利用者に素敵なプレゼントをいただきました。コロナに負けずに頑張る気持ちをアマビエのうろこに書いて寄せ書きです。



子どもたちからみんなを元気づけるメッセージ
(公民館ロビー：3月5日)

公民館と図書館で展示しています。ご覧ください。

福祉ひろばに明るい笑顔

2 月まで事業を休止していた福祉ひろばが、3 月から利用を再開しました。3 月 11 日には「コロナに負けるな体操」を開催し、17 人の参加者がスクリーンに映る模範演技を見ながら、外出の自粛で運動不足になっていた身体をほぐしました。

知り合いと久々の再会を喜び、マスク越しに笑顔で話はずむ光景も見られました。



「コロナに負けるな体操」で運動不足を解消
(福祉ひろば：3月11日)

会議はオンライン参加



研修会をオンライン (Zoom) で聴講
(公民館中会議室：2月22日)

松本市でも会議や講演会をオンラインで参加・視聴する形式が多くなり、公民館職員も会議のために本庁などへ出向くことなく、公民館の会議室からタブレット端末で参加する機会が増えました。これもコロナ禍がもたらした新しい生活様式のひとつですね。

春の到来も間近

幸運を招く「金のなる木」の鉢を、冬の間は霜よけで公民館のロビーに置いていましたが、2 月に可愛いピンクの花が咲きました。暖かくなつた 3 月からは正面入口の脇に置き場所を移しました。

4 月は桜の開花。今年はお花見ができるといいですね。



金のなる木 (フチベニベンケイ) に咲いた星形のピンクの花
(公民館正面入口：3月5日)

雑感

何気なく見ていた部屋のカレンダーと、手元のノートのカレンダーとで祝日に違いがあることに気がついた▼東京五輪開催のため、7月19日の「海の日」が開会式前日の7月22日に、10月11日の「スポーツの日」は開会式の7月23日に移動。また、8月11日の「山の日」を日曜日の8日へ移して閉会式。翌9日が振替休日となるのが正しい▼改正五輪特措法の成立が昨年11月末であったため、夏場から印刷がはじまっていたカレンダーの中には、変更が間に合わなかったものがあるようだ。我が家には変更済みのカレンダーは一つしかなかったのだが、気づいていなかったのは私だけかも…と少しあせった▼この文章を認めている時点では、まだ東京五輪の開催の如何は不透明だが、もうカレンダーに変更はないだろう。コロナ禍で、これまでは学校も職場も、そして我々の生活も、先が見えずにただただ押し流されてもがいてきた観がある。4月には新年度が始まる。自分をみつめ、人をおもんばか心をもつて、前を向いてスタートを切りたい。(小山淳二)

連続講座のまとめとして、住民が行動しやすいよう、地区内の町会ごとに「防災マップ」を作成して住民に配布し、災害時に活用できるようにしました。しかし、高宮町会では平成25年

街かどの話題 148

災害から住民を守る
防災マップの見直し

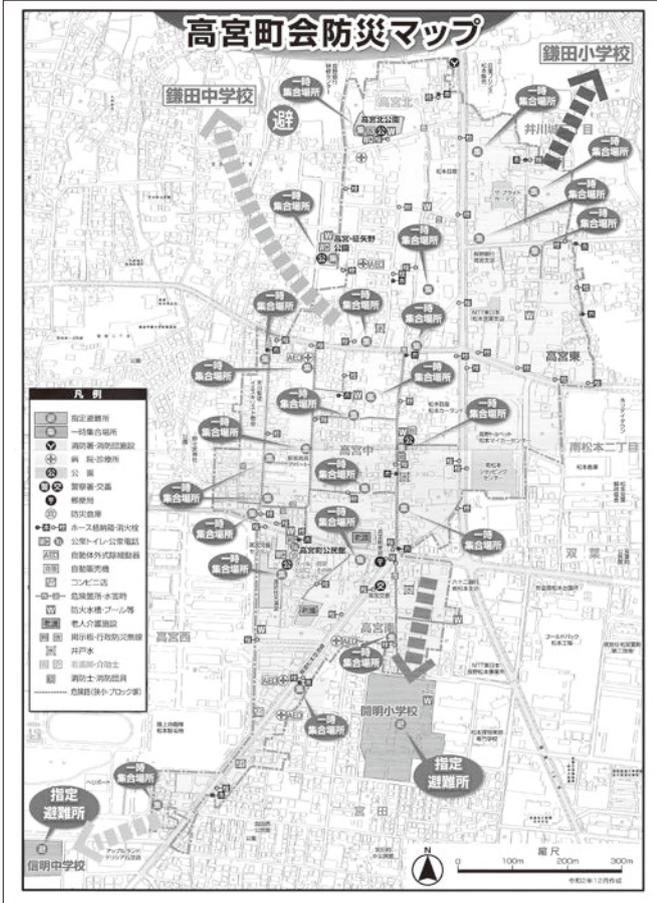


鎌田地区では東日本大震災や松本地震を契機とした住民の危機意識の高まりを受けて、平成25年に住民を対象とした「防災と福祉のまらづくり」講座を4回開催しました。

当初のマップに記載のある指定避難所、一時集合場所、危険箇所、消火栓や防火水槽の位置、AED設置箇所等を、町会役員と防災防犯委員が現場を確認しながら追加や削除修正を行い、数度の校正を経てカラー印刷の改訂版マップを完成させました。

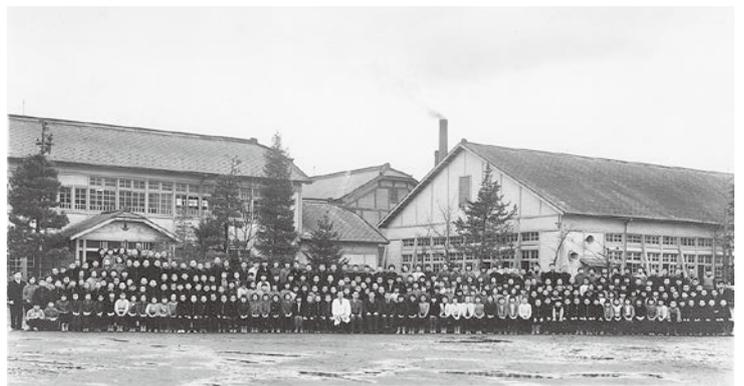
のマップ作成から時が経過して町の中も変化してきたことと、足元にある「糸魚川―静岡構造線断層帯」で発生確率の高い直下型地震への備えが肝要であることから、「防災マップ」の見直しを行いました。

新しいマップは町内全世帯、企業、事業所に配布して、防災啓発活動や災害時に活用できるようにしました。同様の取り組みが他の町会でも行われるように、小川町会長は「鎌田地区の町会長会で見直しを働きかけたい」と話しています。災害はいつ起こるかかわりません。自分の命を守ることに、家族や隣近所と助け合うことを平時から話し合い、「いざ」というときに備えておきましょう。



改訂版「高宮町会防災マップ」

鎌田地区の歴史 ⑫



卒業を控えた鎌田小学校6年生が校庭で記念写真
(鎌田小学校の旧校舎・昭和34年2月頃)

昭和33(1958)年度の鎌田小学校の児童数は1,814人、6年生は5クラスで270人を数えた。のちに“団塊の世代”といわれる翌年の卒業生はさらに多くて、346人だった。

校舎は昭和8年の建設で、現在の校庭の場所に校舎があり、後ろには森永乳業松本工場の煙突が見える。なお、この10年後に校舎の改築工事が進み、昭和47年3月に新校舎が完成している。

公民館ロビーに絵画の大作を展示

1月から公民館のロビー正面に、鎌田町会の野田直子さん(信州美術会)の油彩画「音楽都市」を展示しています。なお、ロビーには公民館の写真サークル「光芒」の皆さんの作品、2階には両島町会の鎌倉太一郎さん(創元会)の油彩画「源流」や画家の有賀由延さんと田口勝さんの絵画も展示しています。作品の鑑賞かたがた公民館へ気軽にお出かけください。



野田直子「音楽都市」(油彩画 100号)